

みと 美都

御津南部小学校
校長室だより
令和6年3月4日
No.43



折り紙クラブから校長室にプレゼント



6年生を送る会



3月1日（金）、「6年生を送る会」が開かれました。

全校が一堂に集まって開催したのは5年ぶりです。全校のみんなで作り上げた心温まるすてきな会になりました。この会のために、5年生を中心に準備や出し物の練習をしてきました。お世話になった6年生への感謝の気持ちは十分に伝わったことと思います。

6年生は、さまざまな行事や活動を通して、すばらしい姿を見せてくれました。最上級生として、学校の代表として、運動会や修学旅行などを立派にやり遂げてくれました。普段の生活でも、委員会の当番活動や通学班の班長の仕事に責任をもって取り組んでくれました。6年生の子たちと話をすると、誰もが笑顔であたたかく接してくれます。すてきな仲間を支えられ、力を合わせて前向きに過ごしてきたことがうかがえます。

また、1月くらいから少し言動が変わってきたように感じます。はきはきとしたあいさつや1年生と遊ぶやさしい姿をみせてくれました。リーダーとして、学校全体を引っ張っていかうとする頼もしさだけでなく、下の学年のことや友だちのこと、学校全体のことなど、周りのことを考えられるようになってきたところに、心の成長を感じます。クラスの仲間とともに過ごす日々も、あと残りわずかとなりました。一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

そして、中心になって準備を進めてきた5年生。大きなイベントを自分たちの力で見事にやり遂げてくれました。5年生の必死な姿が心を打ちました。大成功したことはもちろん、ここまで苦労しながら、みんなががんばって積み上げてきたことに自信をもってほしいと思います。一人一人のがんばりに大きな拍手を送ります。来年の御津南部小学校をよろしく頼みます。



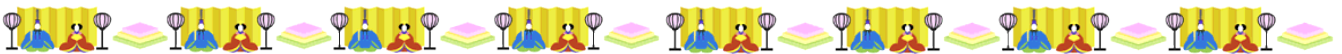
オーストラリアとの交流 交流委員会の発表



2月29日（木）の全校集会で、交流委員会の子たちがオーストラリアシデナム校との交流について発表しました。先日のテレビ電話（ZOOM）での交流の様子や、以前行われていたオーストラリアへの派遣やシデナム校からの訪問の様子について、映像を使って紹介しました。また、楽しいクイズもあり、たいへん勉強になりました。交流委員会のみなさんありがとうございました。

以前は、人の行き来を中心とした交流を行っていましたが、新型コロナの拡大、旅行費用の増加、安全の確保などの理由で、現在、難しい状況にあります。しかし、南部小学校では、工夫して交流を続けています。ZOOMを使った交流は、自分たちの学校や教室にいながら、はるか遠く離れたオーストラリアの子どもたちと同じ場所にいるかのように、相手の姿を見ながら会話をすることができます。そして、何よりいいのは、オーストラリアと日本は、ほとんど時差がないことです。2時間の差しかありません。授業中に、普通に交流ができてしまうのです。どんな交流ができるのか、どうすると交流の輪が広がるかみんなで考えていきましょう。

校長先生も気になってさっそく調べてみました。オーストラリアの学校は、州によって少し異なりますが、小学校は6年間、中学校は4年間、高校は2年間のカリキュラムからなっています。6歳から15歳まで、10年間は義務教育です。指定された教科書はないそうです。考えさせる授業が多く、それは、多文化社会のオーストラリアでは、幼いころから、自分とは異なった意見や考え方があるということを受け入れる精神がとても大切にされているからだそうです。日本の学校とはずいぶんと違いがありますね。興味がわいてきます。



おやじの会と校内環境整備

3月2日（土）おやじの会による環境整備作業が行われました。今回の作業場所は、南部山・南部川です。おやじの会のみなさんと6年生有志、教職員有志が力を合わせて、南部川の草木や泥、ハド口の除去、南部山周辺の草刈りや整地、ベンチやテーブルの組み立てなどをしました。風が強く寒い日になりましたが、熱心に作業をするうちに汗も出てきました。チームワークよく作業が進み、きれいにすることができました。引き続き、子どもたちが、南部山・南部川で元気に遊ぶことができます。

おやじの会のみなさんいつもありがとうございます。そして、参加してくれたたくさんの6年生のみなさん、先生方ありがとうございました。

